

授業科目名： 生理学	教員の免許状取得のための の修科目	単位数： 2単位	担当教員名：菊田 幸子 担当形態：単独
実務内容 (実務家教員の場合)			
科 目	教科及び教科の指導法に関する科目 (中学校及び高等学校保健体育)		
施行規則に定める 科目区分又は事項等	教科に関する専門的事項 生理学(運動生理学を含む。)		
<p>「学位授与の方針」との関係</p> <p>星槎大学は、「人を認める、人を排除しない、仲間を作る」という三つの約束のもと、「人と人、そして人と自然とが共生する社会の創造に貢献する」を教育理念としています。共生科学部は、この三つの約束、教育理念に基づき、「21世紀を創造する広く深い知の涵養」「共生する心の耕作」「課題探究能力の育成」「インクルージョン教育に基づいた社会実践を担い、社会変革を目指す人材の養成」を教育目的とし、以下の「星槎共生スピリット」を身に付けたものに学位を授与します。</p> <p>A. 共生社会創造のために、教育、福祉、環境、国際関係、スポーツ身体表現の専門的知識を生かし、狭い専門領域を越えて統合しようとする意志を持つこと。</p> <p>B. 問題が生起する現場において、専門知や統合知を使い、解決のために実践しようとする気概を持つこと。</p> <p>C. 共感理解教育の理念を認識し、実践すること。</p> <p>D. 多様な人々や生命に対して、他者を認め、他者を排除せず、仲間を作るという星槎の三つの約束の精神に則って、共生社会の創造に貢献する姿勢を身につけていること。</p> <p>E. 個人や社会にとって必要な課題の解決のため、自律的な課題探究能力を身につけていること。</p> <p>F. 共生社会創造の目的のために、絶えず学び続ける意欲を持つこと。</p>			
<p>授業の到達目標及びテーマ</p> <p>(1) 人体の正常な構造と機能を説明できる。</p> <p>(2) 恒常性の意義と恒常性の維持に関わる一般的なメカニズムを説明できる。</p> <p>(3) 情報伝達の種類と機能を説明できる。</p>			
<p>授業の概要</p> <p>生命現象を機能的な側面から究明する生理学は、構造的な側面から究明する形態学と、しばしば対置される。しかし、両者は本来、不可分の関係にあり、機能を学ぶ上では構造を理解することも大切である。本講義では、人の身体を細胞、組織、器官、個体のレベルで学んでゆき、生体の正常な働きと、その巧妙なメカニズムを理解することを目標としている。</p>			
<p>授業計画</p> <p>第1回：生命の機構</p> <p>第2回：細胞膜</p> <p>第3回：体液</p> <p>第4回：神経の興奮伝導とシナプス伝達</p>			

第5回：血液

第6回：呼吸器系

第7回：循環器系

第8回：泌尿器系

第9回：消化器系

第10回：代謝・栄養と体温

第11回：神経系

第12回：内分泌系

第13回：生殖器系

第14回：感覚器系

第15回：筋系

\*スクーリングでは上記内容を包括的に取り上げる。

定期試験

スクーリングでの学修内容

第1回～第15回の学習内容を、要点をまとめつつ包括的に取り上げていく。

教科書

『人体生理学ノート 第8版』岡田隆夫著 金芳堂 2018

参考文献

必要に応じて適宜紹介する。

学生に対する評価

レポート評価（25%）、スクーリング評価（25%）、科目修得試験（50%）の割合で総合して評価する。